

由良ヶ岳 (丹後富士)

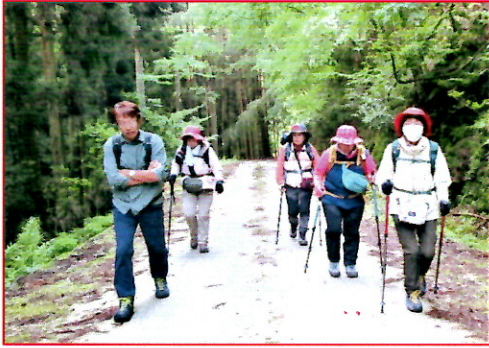
[※ 実施日—2024年05月14日(火)]



(ハイライトシーン)

※ 弥生班 計6名

① (山行開始)



② (由良ヶ岳西峰の登山口)



③ (ウツギの花の下で)



⑤ (西峰からの眺望)



④ (西峰の山頂)



⑥ (東峰の山頂)



⑦ (東峰からの眺望)



⑩ (天橋立から見た由良ヶ岳)



⑨ (天橋立の砂浜)



⑧ (天橋立)

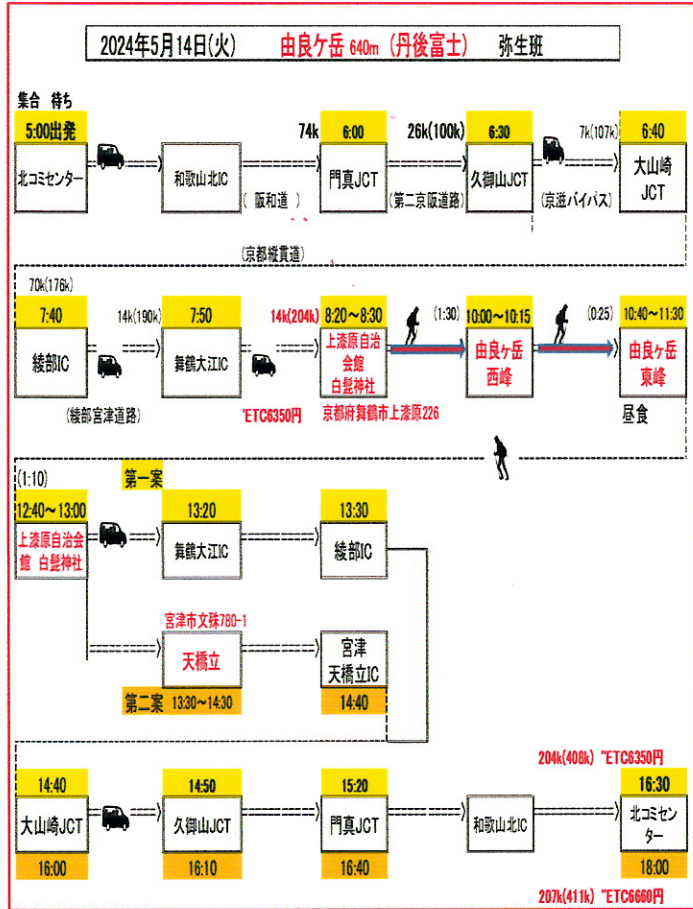


由良ヶ岳

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2024年5月14日(火)

※(行程) [予定]



(由良ヶ岳のロードマップ)



(メンバー) ----- 計6名

木村、中濱、河原、八木、上畑、有本、

※[はじめに]

(由良ヶ岳)

○由良ヶ岳は、丹後天橋立大江山国定公園にそびえる山で、別名「丹後富士」とも呼ばれる美しい山容が魅力で、山頂からは若狭湾の美しい海岸線を一望できる。東峰と西峰と並んで双耳峰となっている。

※[計画の目的]

- ・由良ヶ岳山頂から若狭湾の海岸線と日本三景のひとつである天橋立の眺望を楽しむ。

(写真1)

(現地の駐車場で)



- ・北コミ 5時出発、京都縦貫自動車道で霧が発生したが、現地へは予定どおり7時40分到着。

(写真2)

(山行開始)



- ・7:45、山行開始。
本日は西峰～東峰の周回コースを計画。

(写真3) (西峰の登山口)



- ・晴天で気分が良い。

(写真4) (ウツギの花の下で)



- ・道中では要所要所でウツギの花が咲いており、満開で疲れを癒してくれます。。

(余談) [ウツギの花]

- ・ウツギは、初夏に美しい花を咲かせその甘い香りが空気を満たします。
ウツギの花言葉は「秘密」「古風」「風情」「乙女の香り」の4つです。

(写真5) (西峰の山頂)



- ・9:45、登山道は整備され予定どおり山頂到着。

(写真6) (西峰からの眺望)



- ・西峰の山頂からは、正面の遠くに丹後半島、伊根の里、天橋立、手前に栗田湾の絶景が素晴らしい。

(写真7) (東峰の頂上)



- ・10:30、東峰に到着。

(写真8) (東峰からの眺望)



- ・東峰の山頂からは、若狭湾や遠くには青葉山を眺められ、絶景を楽しむことができ、本日の目的達成！

(写真9)

(虚空蔵菩薩)



(写真10)

(東峰山頂で昼食)



(写真11)

(下山)



・下山道はあまり整備がされておらず道迷いが3回あり、予定より時間を要した。

(写真12)

(崩落地--1)



・途中で崩落個所があり、ロープを伝って進む。



・由良ヶ岳の山頂には寅年の守神の虚空蔵菩薩が祀られている。

(写真 13) ((崩落地--2))



(写真 14) ((仁王岩))



・下山道では、仁王岩や座禅岩といった奇岩がある。

(写真 15) ((天橋立--1))



・13:45、下山後、天橋立観光を行う。

(写真 16) ((天橋立--2))



・日本三景の1つである天橋立を散策。

(余談) [日本三景]

- ・宮城県の松島
- ・京都府の天橋立
- ・広島県の宮島 を指す。

(写真 16) ((天橋立から見た由良ヶ岳))



※[最後に]

(トラブル)

○特にトラブルは無かったが、下山時は道迷いで遠回りし藪漕ぎ状態が3回あった。

(感想)

○計画は念入りにしていたが、下山道があまり整備されておらず苦労した。

○山頂では晴天に恵まれ天橋立や若狭湾の眺望がよく、昼食は美味しく持ち込んだノンアルコールビールで堪能しました。

○下山後は山頂から見た天橋立観光もでき、楽しい旅ができました。